2025年〈巳年〉のスタート ~「絆」を大切に~

2025 (令和7) 年がスタートし、今週7日 (火) に、3学期の始業式を行いました。現在、全国 的にインフルエンザが猛威を振るっていますが、幸い本校では感染が広まっていないため、全校児童が 体育館に集まって式を開催することができました。

始業式では、最初に私の冬休みの思い出を元に話をしました。 私は、毎年1月3日に開かれる高校の陸上部の同窓会に参加しています。陸上部の仲間は、私と同じく還暦を迎えましたが、高校卒業後40年以上を経た今でも、半数を超える仲間が集まり、旧交を温めることができました。当日、都合で参加できなかった仲間とも SNS で連絡を取り合い、思い出話に花を咲かせました。こうした気の置けない仲間がいるというのは、本当にうれしいことです。6年2組が学芸会で「友達はいいもんだ」を歌ったことも例に挙げながら、「絆」の大切さを伝えました。子供たちは、小学校の友達のみならず、今後、多くの友達と出会います。一つつの出会い大切にしながら、「絆」を育んでいってほしいです。

続いて、3問の「お正月クイズ」を交えながら、今年は「巳年」であることや、「七草粥」や「鏡開き」といった正月の恒例行事についても話をし、男川っ子と職員が共に楽しいムードで新年のスタートを切ることができました。今年も男川っ子が元気に活躍することを楽しみにしています。



▲6-2の学芸会を例に絆の大切さを伝える



▲みんなで楽しい時間を共有した「お正月クイズ」

集中して書に臨んだ「校内書き初め会」

今週8日(水)に、「校内書き初め会」を行いました。新年の始まりにふさわしい落ち着いた雰囲気の中で、子供たちは集中して筆や鉛筆を走らせていました。これまでの練習の成果を十分に発揮して、丁寧に書に臨む姿勢がとても素晴らしかったです。



▲【1年】初めての書き初めに挑戦



▲ 【4年】 「春を待つ」



▲【6年】「夢を語ろう」